

九州歴史資料館	行事・事業予定
展 示	常設展：「歴史(とき)の宝石箱」(～9月16日(月・祝)) (第1展示室) ※9月18日(水)～9月27日(金) 第1・3展示室は閉室 特集展示：3月16日(土)～6月23日(日)「出土貿易陶磁器の世界」(第1展示室中世コーナー) 3月16日(土)～7月15日(月・祝)「近世英彦山の古文書」(第1展示室中世・近世コーナー) 4月23日(火)～7月7日(日)「筑紫野地帯の旧石器」(第1展示室旧石器コーナー) 特別展：9月28日(土)～11月10日(日)「戦国武将の誇りと祈り 九州の覇権のゆくえ」(第1展示室) 企画展：4月9日(火)～7月15日(月・祝)「きゅうおにとタイムトラベル-大昔のくらしと国づくり-」(第2展示室) 7月17日(水)～9月29日(日)「発掘速報展2013」(第2・4展示室) パネル展：4月23日(火)～7月21日(日)「朝鮮半島の文化遺産(4)-高麗の山城」(文化情報広場) 7月23日(火)～10月20日(日)「福岡県の鉄道遺産」(文化情報広場) 古代体験：毎週、土・日・祝日に第4展示室で九歴ボランティアによる古代体験実施中(有料、無料体験あり。予約不要。)
講座・イベント	館長講座：全12回の連続講座「古代の朝鮮半島」(第4土曜日)(10月・12月は第3土曜日実施)(受付は終了しました) 九歴講座：全12回 第2土曜日(第1回～第4回は2月より申込開始。定員になり次第締切) 九歴ゼミ：4～6月「仏像拝観基礎講座」(受付は終了しました)、7～9月「九歴古文書講座」(定員20名要申込) 夜のギャラリートーク：8月21日(水)19:00～20:00(18:30受付開始～ 事前申込不要、但し観覧料が必要)
発掘調査	大宰府史跡調査(蔵司地区) 県内遺跡発掘調査

求 善 提 館	資 料
〒828-0085 豊前市大字島井畑247 TEL・FAX0979-88-3203	常設展：「求菩提修験道の世界」 企画展：4月20日(土)～5月26日(日) 「求菩提の農村景観」重要文化的景観選定記念企画展「菩提へのみち～二川秀臣作品展～」 *5月11日(土) 作家本人によるギャラリートーク 4月20日(土)～5月19日(日) 「ふるさと写真コンクール 入賞・入選作品展」 史跡ガイド活動：申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします。

甘 木 歴 史 資 料 館	資 料
〒838-0068 朝倉市甘木216-2 TEL・FAX0946-22-7515	常設展：「朝倉の歴史と民俗資料」 春季節展：「あ！さくら展 春爛漫 桜が主役の作品展」3月19日(火)～4月7日(日) 作品展とあわせて、資料館を取り囲むように咲く桜をお楽しみください。 学習講座：開講期間 平成25年4月～平成26年2月。毎月1～2回、全15回のシリーズ講座。 (年間を通しての参加となります。要申込。定員40名。詳しくは、お問い合わせください。) 出前講座：考古資料・民俗資料の出張展示等。(申込随時。詳しくは、お問い合わせください。) 自主展示会：「平塚川添遺跡公園 トンボ玉講座受講生作品展」4月16日(火)～5月6日(月・振休)

柳 川 古 文 書 館	資 料
〒832-0021 柳川市扇町71-2 TEL 0944-72-1037 FAX 0944-72-5559	企画展：4月7日(日)まで 「松井家・立石家のおひなさま」 常設展：4月10日(水)～6月30日(日)「保存のかたち～史料を守り、伝える～」 9月4日(水)～10月27日(日・予定)「保存のかたち～史料を守り、伝える～」 企画展：7月2日(火)～9月1日(日)「発掘された柳川」展(仮) 九州歴史資料館と共同開催 古代体験ワークショップ：8月上旬を予定 上記「発掘された柳川」展(仮)に併せて実施。7月に募集予定。九歴共催 古文書解説講座：毎月第4日曜日 初級・応用の2コース(受付は終了しました) 古文書入門講座：7月に募集予定、8月～9月に実施予定(詳細未定) 古文書を集中して学ぶ初心者のための講座です。

※各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページ並びに直接お問い合わせください

福岡県内の指定・登録文化財

石坂トンネル(第2隧道) [国登録有形文化財]

田川郡赤村大字赤～京都郡みやこ町大字崎山字石坂

現在の平成筑豊鉄道等の前身に当たる豊州鉄道が、石炭輸送を主目的に明治28年(1895)に完成させた、九州最古の鉄道トンネルです。全長75m、トンネル内部はレンガを積み上げ、入口は切石とレンガを組み合わせていました。トンネルの断面が線路に比べて著しく大きいのは、将来の複線化を見越した大きさとされており、当時の石炭輸送の盛況を示す文化財といえます。アクセスは、平成筑豊鉄道田川線源じいの森駅から徒歩約3分です。



九州歴史資料館

KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106
福岡県小郡市三沢5208-3
☎ 0942-75-9575
FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>

- 公共交通機関
《西鉄電車》天神大牟田線三國が丘駅から徒歩約10分
《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約5分
- 自動車
《九州自動車道》筑紫野I.C.から鳥栖筑紫野道路経由で約15分
《大分自動車道》筑後小郡I.C.から国道500号線・県道88号線経由で約15分
《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分

開館時間 午前9時30分～午後4時30分
観覧料 一般200(150)円 高大生150(100)円
満65歳以上・中学生以下・障がい者(同伴介護者1名)無料
※土曜日は高校生も無料
※()内は団体料金(20名以上)
休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)



九歴だより

No.37
2013.4

特報

福原長者原遺跡—九州最大級の古代官衙政庁跡—

福原長者原遺跡は行橋市南泉2丁目(旧大字福原字長者原)に所在します。「長者」地名は古代の官衙(役所)跡に分布する地名の一つであり、また、方位を意識した方形地割りが残ることなどから、古代官衙が存在する可能性が指摘されていました。



福原長者原遺跡遠景
(赤線部分が政庁想定範囲、写真奥が北東)

当遺跡では平成22～24年度にかけて、福岡県教育委員会によって東九州自動車道建設に伴う発掘調査が実施されました。その結果、計画的に配置された建物跡や、敷地を囲う回廊状遺構および大溝などの区画施設の跡、南門跡及び東門跡、鍛冶炉跡や井戸跡などが検出され、遺構の位置関係から官衙中心施設である政庁跡であることが判明しました。また、8世紀前半を中心とした須恵器、土師器、官衙遺跡で特徴的に見られる硯、瓦、鍛冶作業で生じる鉄滓などが出土しました。

今回の調査成果をまとめると、①8世紀前半を中心とした時期の官衙政庁跡が確認された、②区画施設から遺構の変遷は3時期に分かれる、③区画施設から政庁東西幅が約128～150mに達する、④南門は12本の柱をもつ八脚門形式である、という点が挙げられます。東西幅に関しては九州最大級の規模を誇り、南門で採用された八脚門形式は、九州において国府級官衙に用いられた格式の高い門でした。一方、課題として、①南北幅が不明、②政庁の中核建物である正殿が未確認、③政庁周辺の施設が未確認、④古代の主要道である官道との関係が不明、⑤文字資料が未出土、という点が挙げられます。



福原長者原遺跡南門跡
(写真奥が南、人の位置が柱跡を示す)

当遺跡が所在する豊前国では、平安時代の国府跡が当遺跡の約2km南東で確認されていますが、奈良時代の国府は確認されていません。現在、当遺跡の性格を示す文字資料などは出土していませんが、規模や門の格式からすれば、とても重要な施設であったことは確実です。奈良時代の豊前国府所在地論争にも一石を投じる遺跡ですが、古代律令体制が整備される時期に当たるので、日本古代史を考える上でも重要な遺跡であると言えるでしょう。(文化財調査室 岡田 諭)

九歴だより 平成二十五年四月(第三十七号)

編集・発行 九州歴史資料館 印刷 (株)西日本新聞印刷

昨年夏に開催の企画展「発掘福岡2012」にて展示しました遺跡から主なものを御紹介します。

とうだひわた 塔田琵琶田遺跡(豊前市)

朝鮮半島にルーツを持つ「オンドル状煙道」を備えたカマドが多く見つかりました。この特徴的な遺構は、古墳時代後期の約200軒近い竪穴住居群の6～7割にみられ、ほかの遺跡と比べてもその数は群を抜きます。渡来人との関わりを物語る貴重な証拠です。



古代体験の様子



きょうがつし 京ヶ辻遺跡(みやこ町)

古墳時代中期前半頃の渡来系と考えられる要素をもつ集落で、特筆すべきことは、居屋敷遺跡1号窯で製作されたと思われる初期須恵器が数多く発見され、この集落の中に須恵器工人が存在していた可能性が指摘できる大きな成果をあげました。

にし かま ち いけ ぶち 西蒲池池淵遺跡(柳川市)

弥生時代中期～戦国時代に及ぶ複数の時代の集落遺跡です。調査では、古墳時代初頭の遺構から完形品を含む土器が大量に出土し、更に県内で初めて「ト骨(古いに使用された動物の骨)」が出土しました。



今年も「発掘速報展2013」(会期：7/17(水)～9/29(日))を開催します。ぜひ御観覧ください。

発掘速報 大野城跡新発見 クロガネ岩城門の調査



古代山城の一つ「大野城跡」では、数年前に近世の絵図をもとに実施した踏査により、9ヶ所目となる城門跡が発見されました。当館では昨年より測量・発掘調査を実施し、規模や構造などが徐々に明らかになってきています。

九歴名品探訪 Vol.2



狩人の石槍(筑紫野市宗原遺跡出土品)

角錐状石器(三稜尖頭器)と呼ばれる石器です。先端を鋭く尖らせ、動物を射止める石槍として狩猟に使用したと考えられます。黒曜石やサヌカイトを使った大小様々な形の石槍があり、狩人の道具箱を見ているようです。

福岡県指定有形文化財

第1期・九歴ボランティア卒業



当館が、平成22年度に小郡市に移転開館したのを機に、古代体験運営・バックヤード解説を主な活動内容とする第1期九歴ボランティア(定員40名、任期3年)を立ち上げました。九歴ボランティアの手厚い支援は、来館者からも御好評をいただいております。また、最終年度である24年度は、各自の興味に基づく4つの研究グループを構成して、グループ研究を積み重ねられ、パネル展「第1期九歴ボランティア研究成果展」(平成25年2月26日～4月21日)を開催すると共に、3月16日には、研究成果発表会を開催し、ボランティア活動の集大成を披露することができました。4月からは第2期ボランティアがスタートします。



ボランティア研究成果展の様子

展示紹介

平成25年度上半期に開催される展覧会を御紹介します。

第14回企画展「きゅうおにとタイムトラベル」

会期：4月9日(火)～7月15日(月・祝) 会場：第2・4展示室

大昔にタイムトラベルした九歴マスコットの「きゅうおに」。縄文時代・弥生時代・奈良時代のそれぞれの時代をトラベルしながら昔の生活や国が形作られた様子を学びます。小学校6年生の1学期の社会科学習に沿った内容になっています。

特集展示 会場：第1展示室

「出土貿易陶磁器の世界一大宰府史跡と才田遺跡一」(会期：3/16～6/23)

通常は第3展示室にある貿易陶磁器資料を、朝倉市才田遺跡出土資料と共に展示します。

「近世英彦山の古文書」(会期：3/16～7/15)

秀吉朱印状、院宣、本末争論…。九州を代表する霊山の多彩な活動を御紹介します。

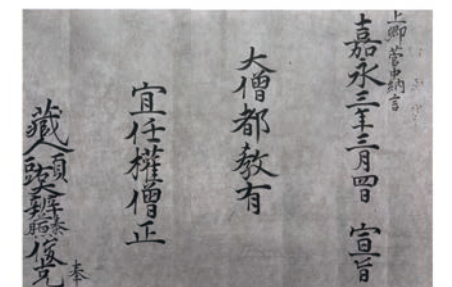
「筑紫野地峡帯の旧石器」(会期：4/23～7/7)

この春に県指定文化財となった筑紫野市宗原遺跡出土の石器を中心に、筑紫野地峡帯の旧石器資料を展示します。

パネル展「福岡県の鉄道遺産」

会場：文化情報広場(会期：7/23～10/20)

石炭輸送のため、明治期から濃密な鉄道網が敷設された福岡県。当時の輸送の姿を今に伝える鉄道遺産を、写真パネルで御紹介します。



孝明天皇白宣案(添田町教育委員会所蔵)

刊行物のご案内

九州歴史資料館では過去に発行された図録・報告書を販売しております。当館受付にてお問い合わせください。

図録

特別展図録「長崎街道」	900円
企画展図録「北部九州の霊山と経塚」	500円
企画展図録「聖地四王寺山」	500円

研究論集

九州歴史資料館研究論集36(2011年)	700円
九州歴史資料館研究論集37(2012年)	700円
九州歴史資料館研究論集38(2013年)	700円

発掘調査報告書

大宰府史跡発掘調査報告書Ⅶ(平成22・23年度)	1,700円
大宰府政庁周辺官衙跡Ⅱ(日吉地区)	2,100円
大宰府政庁周辺官衙跡Ⅲ(不丁地区・遺構編)	2,400円
大宰府政庁周辺官衙跡Ⅳ(不丁地区・遺物編1)	3,000円

郵送による通信販売も行っています。詳しくは、電話にてお問い合わせ下さい。

